

JRひがし労仙台 業務部情報

2019年11月3日

NO, 022

J R 東 労 働 組 合
仙 台 地 本 業 務 部
発 行 責 任 者 : 横 山 裕 介

申15号2018年度冬期問題等に関する申し入れについて③

【福島総合運輸区】

【第6項】各駅のホーム除雪について。各駅4両分は行われているが、6両分まで行われていないときがある。ホーム上のお客さまが安全・安心して乗降できるよう、朝晩時間帯で6両編成が運転する時間帯は確実に6両分の除雪並びに融雪剤を散布するように要請すること。

《回答》 ホーム除雪については、お客さまの安全・サービスを確保する観点から、社員及びグループ会社により実施してきたところである。

《組合》	《会社》
<input type="checkbox"/> 6両分まで除雪がされていないことが多々ある。各駅の除雪について、計画的に行われているのか。	<input checked="" type="checkbox"/> 最終的には6両までだが、初列車までに最低限お客さまが乗れるように除雪するように指導している。多いところがあれば管理駅を呼び出して更に対応だが、基本的には朝初列車の前に除雪。
<input type="checkbox"/> 除雪要員が足りないのではないのか。そうであれば、融雪マットの導入は求めているのか。	<input checked="" type="checkbox"/> 要員は確保している。マットは耐久性に課題がある。今後の技術の進展と投資計画しだい。
<input type="checkbox"/> 乗務員の申告で対応できるのか。結果、除雪が追いついていない。降りるお客さまからしたら両数まで分からない。降雪が多いときはもう一人要員を増やせないのか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要などころの除雪要員については、委託会社と協議して確保している。乗務員からの設備申告が上がっているところは、要請する場面の参考としていく。
<input type="checkbox"/> 大雪の際に要請を増やすことは可能なのか。	<input checked="" type="checkbox"/> そういった場合は当社が一体となって対応していく。追いつかない場合は地区や毎年支社からも当番を決めて協力する等の対策をしている。

【山形運輸区】

【第7項】米沢駅の冬期回送運転について。毎週月曜と木曜に米沢駅構内の除雪の為、山形駅までの回送が発生した。降積雪がない状況でも回送が発生していたが、休養時間の確保の為に状況により連休など臨機応変な対応とすること。

《回答》 今後も降積雪状況等を踏まえ必要な除雪は実施していく考えであり、雪害対策マニュアルに則り対応することとなる。

《組合》	《会社》
<input type="checkbox"/> 雪が降らないと分かっているときはわざわざ回送を出さなくても良いのではないのか。	<input checked="" type="checkbox"/> 今年の冬も米沢～山形間13回設定した。夜間の保守用車の通過も踏まえて常に通せるスペースをつくるため。突然、変行路になるよりは前もって計画したほうが良い。安全サイドと安定性。